PM-460J

設置マニュアル

ご使用前には、必ずこの設置マニュアルを読み、十分理解のうえ正しくご使用ください。
ご不明な点、ご質問等がある場合は、代理店又は弊社までご連絡ください。
設置マニュアルは、いつも所定の場所に置き、すぐに閲覧できるよう大切に保管してください。

もくじ

設置マニュアルは、いつも所定の場所に置き、すぐに閲覧できるよう大切に保管してください。

設置のために用意していただく部品

・M12 アンカーボルト　・・・4 ヶ
・開閉バルブ （3/8B）　・・・1 ヶ

- 専用ブレーカー：10A 程のブレーカーを用意してください。

安全上のご注意

重要なお知らせ

⚠	危　険	当該記載事項を守らないと死を招く恐れがあります。
⚠	警　告	当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。
⚠	注　意	当該記載事項を守らないと作業者の怪我及び機械の重大な損傷に繋がります。

危　険

- ○ 電力供給を機械に接続する際は資格を持った作業者があたってください。
- ○ しっかりとアースケーブルを接続してください。

ー 当該記載事項を守らないと死を招く恐れがあります。

警　告

- ○ 機械の運搬は、十分に機械重量に耐えることができる装置をご使用ください。
- ○ 機械の運搬は、クレーン、フォークリフトの有資格者が行ってください。
  また、機械を吊り上げる場合は、取扱説明書の記載事項を必ず守ってください。
- ○ 機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らないでください。
- ○ 協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適している人員を選んでください。
- ○ 作業者が相互の合意なしで作業を進めないでください。

ー 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

注　意

- ○ すべての蒸気接続部分にシールテープを巻いてください。
- ○ シールテープ等を巻かなければ、蒸気漏れが発生し、事故の原因になります。

ー 当該記載事項を守らないと作業者の怪我及び機械の重大な損傷に繋がります。

当社は、仕様範囲を超えたご使用に関する如何なる損害も保証しかねます事をご了承ください。

機械設置について

警　告

○　機械の運搬は、十分に機械重量に耐えることができる装置をご使用ください。
○　機械の運搬は、クレーン・フォークリフトの有資格者が行ってください。
　また、機械を吊り上げる場合は、取扱説明書の記載事項を必ず守ってください。
○　機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らないでください。
○　協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適している人員を選んでください。
○　作業者が相互の合意なしで作業を進めないでください。
○　複数の作業者で運搬を行う場合は、手による合図、声による合図、旗による合図等で
安全を確認して作業を行ってください。

－　当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

設置のための注意事項

下記の条件を満たすよう、機械設置をおこなってください。

- 機械が直射日光あるいは雨天にさらされない屋内条件で設置を行ってください。
- 水平な床への設置を行ってください。
  床が水平でない場合、敷板（スペーサー）で調整を行ってください。
- 塵やホコリがない環境で設置を行ってください。
- 重心に注意して慎重に設置を行ってください。
  機械の正面と右側面の下部に、重心ポイントのシール（右図のもの）が
  貼ってあります。

重心ポイント

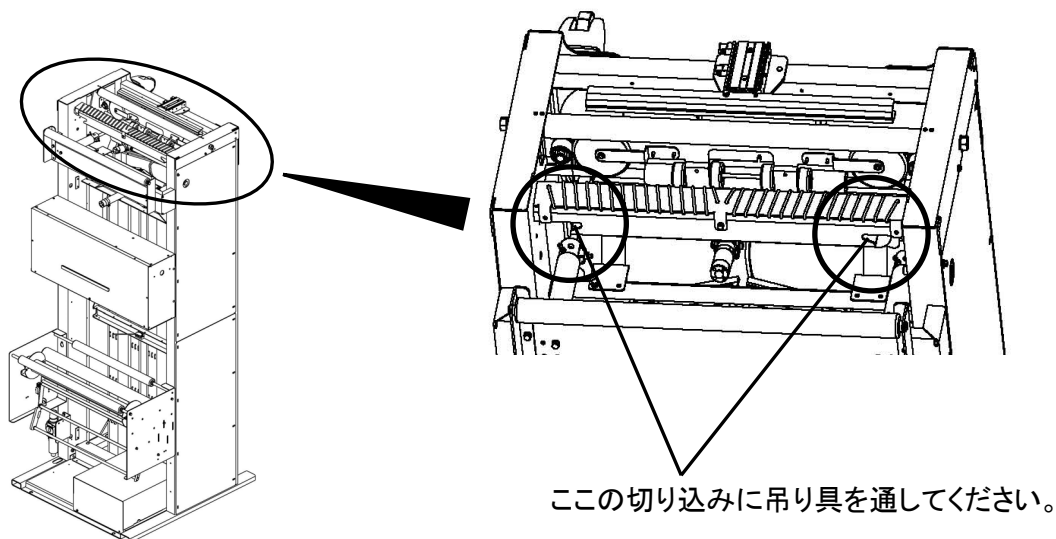
- 十分な作業スペースを機械の周りに確保してください。
- 機械の運搬は、機械重量に十分に耐えることができる装置をご使用ください。

機械設置寸法・重量

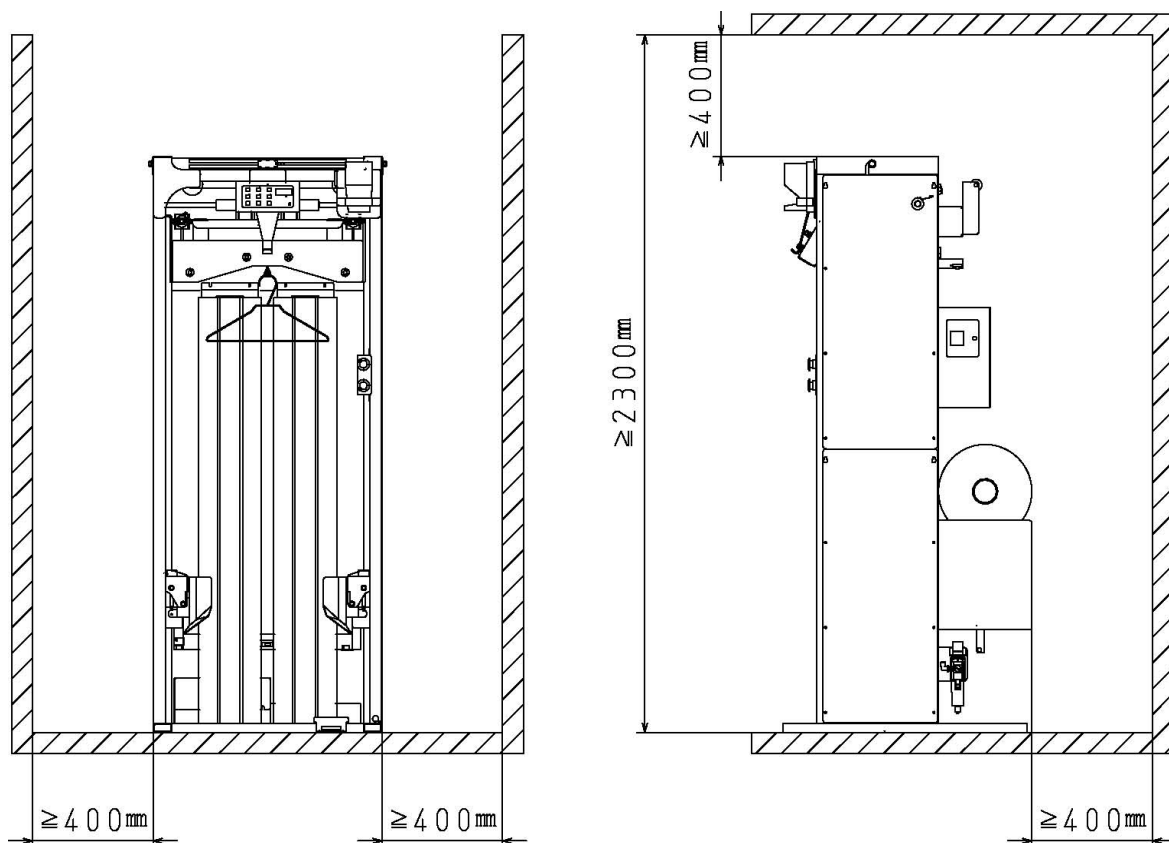
（機械幅×機械奥行×機械高さ）　（重量）
760㎜　×　825㎜　×　1900㎜　・　210kg

※機械設置寸法とは・・・機械が動作した時の最大寸法のことです。
　機械が動作中に、前後または左右に開閉する部分が最大まで開いた位置の寸法を示し、
　上下に移動する部分が一番上まで上昇した位置の寸法を示します。

機械吊上げ位置

搬送の際機械を吊上げる時には、下記図の位置に吊り具を掛けてください。
また吊り具は、機械重量に十分耐えられるものをご使用ください。

設置スペース

設置には、壁や周辺設備との間に十分な作業スペース、またはメンテナンススペースを配慮してください。

・このスペースは、設置管理者によって適正位置に配置してください。
・下図に、配慮すべき最小スペースの参考図を示します。

機械の固定

機械を設置場所まで移動して、床の上に設置してください。

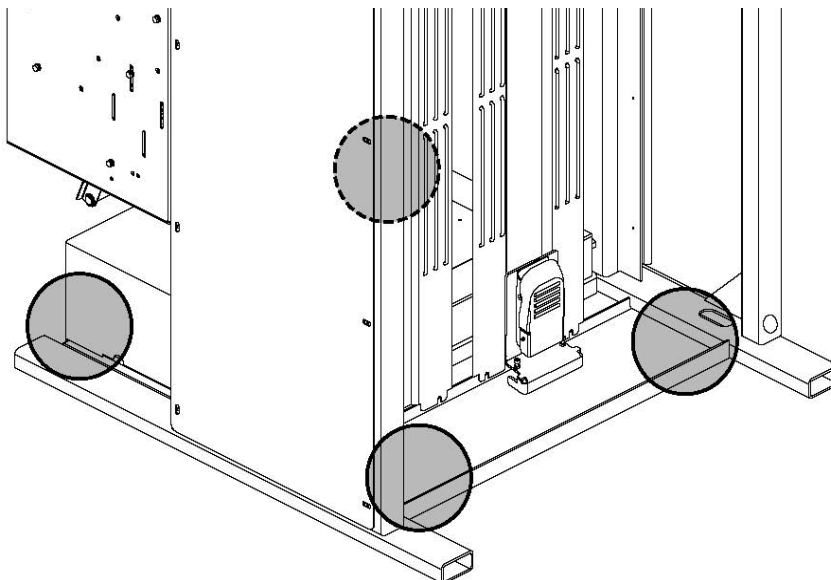
・この時、機械に過度のショックを与えないでください。

・設置する床は機械の重さに十分耐える構造であることを確認してください。

1. アンカーボルトでしっかりと固定してください。

・フレーム底部に4ヵ所の固定用穴をM12アンカーボルトでしっかりと固定してください。

固定せずに機械を使用しないでください！

アンカー穴（4箇所）

梱包金具の取り外しと付属部品の取り付け

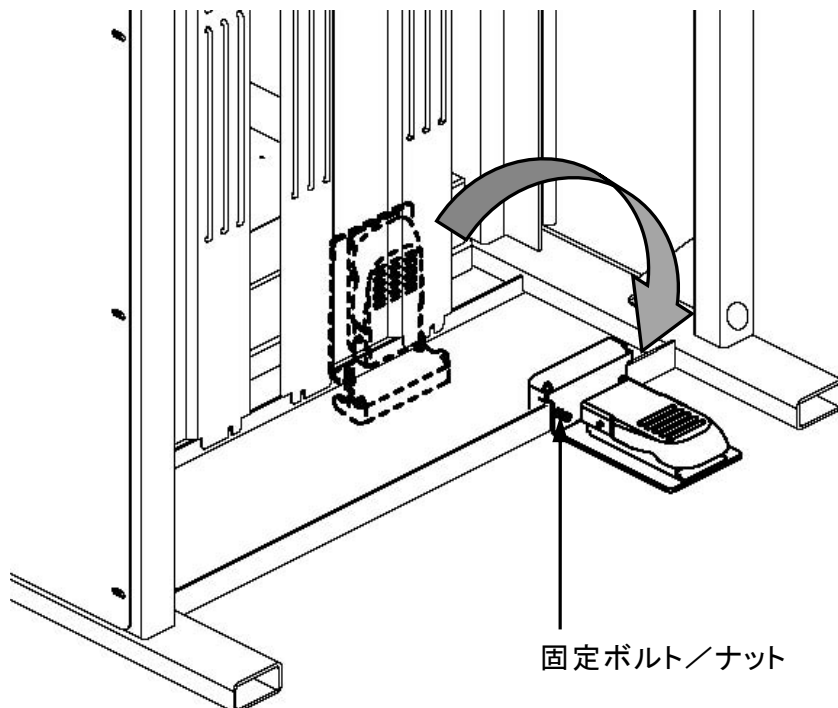
⚠ 注意	・搬送固定用ビニールひもの開梱を忘れないようにしてください。 ・梱包用のひもを切る前に、エアーは絶対に供給しないでください。

1） 梱包ひもの開梱

フィルムストック部・フィルムクランプ部・シールカット部など、可動部分を固定している梱包ひもを切ってください。

注意 ： 梱包用ひもを切る前に、エアーは絶対に供給しないでください。

2） スタートペダルの設置

① 背板に紐で固定してあるペダルを外します。
② ペダルが外側になるように、ベースの淵へ差し込みます。
③ 操作しやすい位置で、M4ボルトを締め込んで固定して更にナットでロックしてください。

エアー配管工事

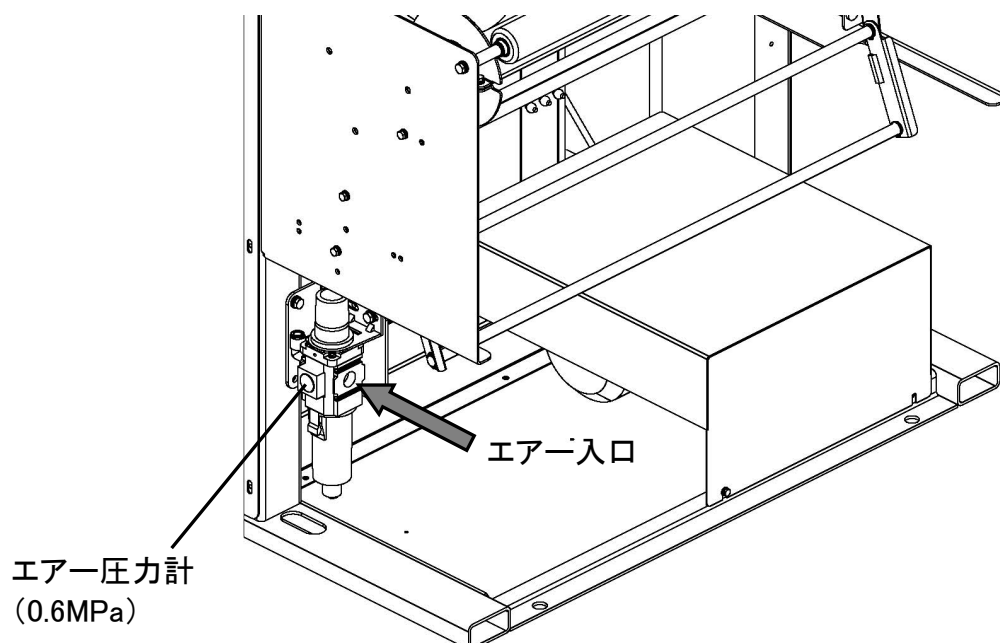
エアー消費量	: 2156 ﾘｯﾄﾙ/時
エアー規定圧	: 0.6MPa
エアー配管径	: 3/8B

● エアー配管を接続してください。
修理の際に、エアーの供給を止められるように、入口側には開閉用バルブを取付けてください。

● エアー圧力 0.6MPa で安定した清浄なエアーを使用してください。
多量のドレン、化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む圧縮空気は、空圧機器の作動不良の原因となります。

● 本機でのエアーの消費量は、2156 ﾘｯﾄﾙ/時です。
この容量以上のエアーが供給できる環境で、使用してください。

● エアーチューブを用いて配管する場合は、チューブ径が 12mm以上のものをご使用ください。

● 配管工事により、出た金属粉などが配管内に入らないよう接続する前に、十分にフラッシング
をしてから配管を接続してください。

電気接続工事

電力：　三相　200V　1.4kW
電源ケーブル：電力線（3 pcs）+ アース線（1pcs）
　　　　　　　VCTF　4 芯　×　2S　　5m（付属）
定格電流及び設定に関する選定に必要なデーター:　GV2-ME14　6 -10A
接地抵抗は 100Ω 以下とすること。

・電力供給を機械に接続する際は資格を持った人が作業にあたってください。
・しっかりとアースケーブルを接続してください。

— 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

<u>次の手順で接続作業を行ってください。</u>

1）アースケーブルを緑の線、又は ⏚ マークへ接続してください。

2）電源ケーブルを工場側ブレーカーの出力端子と接続してください。

3）電気配線工事が終了したら、電気を投入しフィルムストック部の回転方向を確認してください。
　① フィルム送り回転選択スイッチを「正転」側にしてください。
　② ブランコアーム連結軸の、中央部分を手で引いてください。
　③ フィルム送りローラーが、下図の矢印方向に回転しているか確認してください。

フィルク送り回転選択スイッチ（正転側）
逆転
正転
フィルム送りローラー
回転方向
ブランコアーム連結軸
手前に引く

PM-460JX
2013. 2
第 2 版

PM-460JX
2013. 2
第 2 版